平成２８年度

徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校　学力向上実行プラン

自　己　評　価					学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標（と活動計画）	評　価		学校関係者の意見	今後の改善方策
		評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
Ⅱ　臨地実習での指導方法を工夫し支援体制を整備するとともに，看護師国家試験全員合格を目指す。	《全校レベル》 臨地実習において必要な基礎学力の充実を図り，生徒の力量に応じた個別指導に取り組み，全員の看護師国家試験合格を目指す。 《下位組織レベル》 ①看護科と専攻科の連携を深め，臨地実習指導の充実を図る。 ［看護科教員］ ②実習時における個別・グループ別指導の充実を図る。 ［看護科教員］ ③臨床側指導者と密接な連携を図る。 ［各施設担当者］ ④国試演習の充実を図る。　［進路指導課］ ⑤模擬試験の有効活用に取り組む。 ［進路指導課］	①生徒が意欲的に臨地実習に臨めるように事前指導の充実を図る。実習事前レポートを期日までに100％の生徒が提出できる。		（所見）		
		②全ての生徒と面談し，個々に応じた指導に取り組む。適切な資料の提供等生徒が実習しやすいような支援体制を整える。				
		③臨地指導者との連携を密にし，生徒の問題を早期に把握し適切に対処できる。				
		④臨地実習終了後は，生徒全員に，実習場面の振り返りを行わせ，思考判断能力を育成する。				
		⑤専攻科において，各模擬試験の有効活用を図り，必修問題８割，一般問題７割に満たない者は再試験を実施する。				
		⑥専攻科において，国試演習では看護師国家試験の出題基準を網羅し，内容の充実を図る。				
		活動計画	活動計画による実施状況			
		臨地実習を通して学びを深め，看護師国家試験に意欲的に取り組めるようにする。				
		①校内の講義・実習と臨地実習との関連を図り，適切な教材の提供を行う。臨地実習事前レポート課題の内容を精選し，長期休業前に提示する。				
		②臨地実習中は随時，個別指導を行うとともに専門書を活用させ，自ら学ぶ環境を整える。				
		③実習内容の報告を徹底し，生徒・教員間で連絡・相談を行う。				
		④専攻科において，各模擬試験の得点率が，必修問題８割，一般状況　設定問題６割以上になるまで再テスト実施する。				
		⑤専攻科において，補習や国試演習は習熟度別等のグループに分け，　個に応じた指導が行いやすいようにする。				